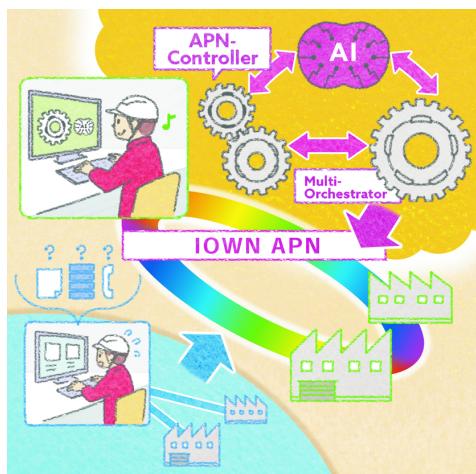


IOWN Now

APN (All-Photonics Network)

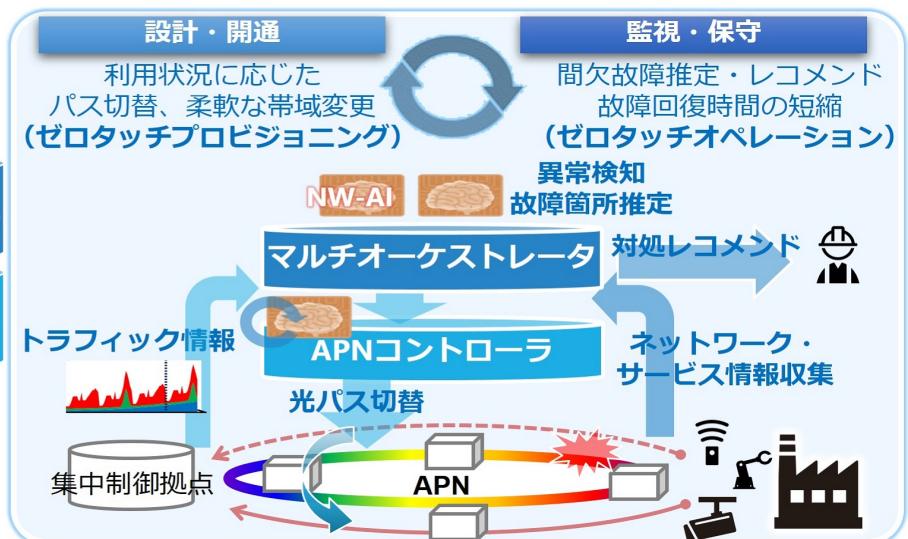
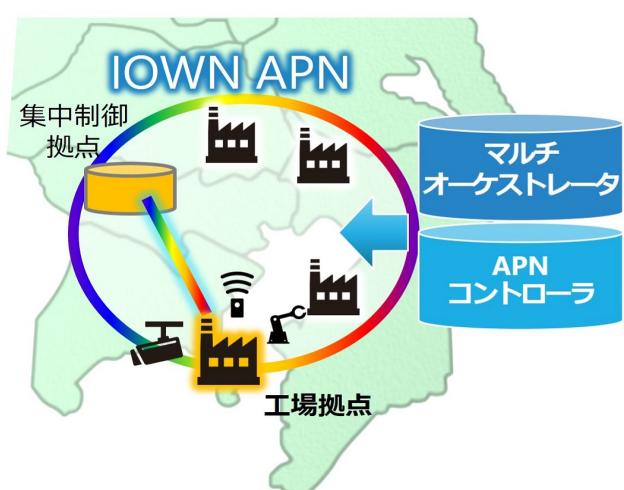


背景

APNにより工場間・データセンタ間などのミッションクリティカルな通信をオンデマンドかつリーズナブルに実現するために、設計・開通・監視・保守・運用といったプロセスの自動化・省力化に向けた、APN運用ライフサイクルのトータルマネジメントが必要です。

成果の概要

APNコントローラ・マルチオーケストレータの協調制御により、利用状況に応じたオンデマンドな光パス開通・変更や、Network-AIによる自律的な異常検知・対処レコメンドを実現し、リードタイムの短縮、サービス復旧の迅速化が可能になります。



技術のポイント

- APNコントローラ/FDNコントローラによる、マルチレイヤのサービス制御・SLA監視に基づく動的な構成変更などのユーザ要件に応じた通信制御の実現
- NW-AIによる、発見が難しい異常の検知、故障箇所の特定などの各保全プロセスを自動化、連携によるゼロタッチオペレーションを実現
- マルチオーケストレータによる、APNコントローラ・FDNコントローラ・Network-AIを連携・協調させたトータルマネジメントの実現

この研究がもたらす未来

End-Endかつマルチレイヤの統合制御による低コストかつ高品質なネットワークサービスのゼロタッチオペレーションを実現し、ものづくりや製造業のDXに貢献します。

出展企業

日本電信電話株式会社、エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com